

町家物語館は1月10日(木)で1周年！！

町家物語館

町家物語館は、大正11年に納屋と蔵が、大正13年に本館と座敷等が建てられた元遊郭の建物です。当時としては珍しい木造3階建てで、今も尚、当時の上流花街の繁栄を偲ばせています。

しばらく空家となっていたこの建物を、市民や学生の有志が集まり大掃除を行い、イベント時などの限定的な公開をしていましたが、耐震補強工事等を終え、昨年1月10日より一般公開となりました。常時の公開とイベントへの貸し出しを行っています。

大和郡山市洞泉寺町10

開館時間＝9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日＝月曜(祝日の場合は開館し翌平日が休館)

祝日の翌日・年末年始

問合せ＝町家物語館(☎52-8008)

地域振興課(内線562・563)



今年の干支はイノシシ

猪目窓を見に来ませんか

多くの来訪者の写真スポットとなっているのが『猪目窓』。

『猪目』とは、古来から伝わる日本伝統模様の1つで、神社やお寺でよく見られ、魔除けの意味があると言われています。

『町家と本と森のねんど』(1月14日(月・祝)まで開催中)

思わずほほえんでしまうような表情の人形。吉野割箸の木くずを利用した『森のねんど』を使った人形作家・岡本道康さんの作品を展示します。今回は、「大和郡山の森とふるさと感じる文学空間」として大和郡山ゆかりの文学者、小野十三郎、川崎彰彦などの著作も展示する予定です。展示内容：ジオラマ・人形・本・写真パネル

※「森のねんど」とは…吉野の森から切りだされた材木の端材で作られた割り箸の木くずから作られたねんどのこと。

岡本氏の作品は、森や河原で遊ぶ子ども達やおじいちゃん、おばあちゃんなど、その豊かな表情に引き込まれる。



『昭和レトロ看板展』も同時開催

昭和初期にはよく見かけたホーロー看板や昭和レトロな電化製品を展示しています。

問合せ＝地域振興課 観光戦略室(内線562・563)